

トップメッセージ



代表取締役社長
(CEO兼COO)

前川 泰則

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2022年3月31日をもって第98期の決算を終了しましたので、ここにご報告申し上げます。

当連結会計年度（日本及びインドは4月～3月、それ以外の国においては1月～12月）における世界経済は、各地域において違いはあるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大抑制や経済対策によって、総じて経済活動は緩やかな回復が継続しました。

わが国においても、経済活動は緩やかな回復基調で推移しましたが、一方で資源・原材料価格の高騰やウクライナ情勢等の影響により、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループと関連の深い自動車産業は、国内では半導体不足やサプライチェーン混乱等の影響で前年に比べ約4%の減産となりました。海外においても、各地域で半導体不足や新型コロナウイルス感染症の影響等により、世界の生産台数は約3%の増加に留まりました。

当連結会計年度における当社グループ売上高は、上記の状況のなかでも海外向け輸出及び建機関連等の需要を取り

込んだこと、及び為替によるプラスの影響により、78,372百万円（前年同期比12.4%増）となりました。利益面では、原材料費や物流費の高騰の影響等があったものの、売上の増加に加え合理化を含む労務費・経費の削減効果等により、営業利益は5,122百万円（前年同期比87.8%増）、経常利益は6,529百万円（前年同期比51.0%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度に計上した事業構造改革費用がなくなったこと等により4,329百万円（前年同期比130.2%増）となりました。

期末配当につきましては、最近の業績および配当性向などを総合的に勘案し、1株当たり60円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

2021年度（4月1日～3月31日）連結決算

売上高

783億72百万円

前年同期比12.4%増



営業利益

51億22百万円

前年同期比87.8%増



経常利益

65億29百万円

前年同期比51.0%増



親会社株主に帰属する当期純利益

43億29百万円

前年同期比130.2%増



事業別の概況

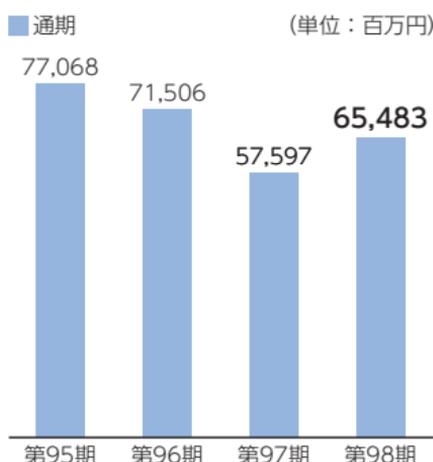
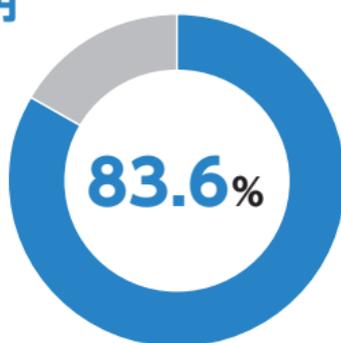
当社グループは、生産・販売体制を基礎とした製品別セグメントから構成されており、製品の内容、製品の販売市場等の類似性を基に、ピストンリング、カムシャフト等の「自動車・産業機械部品事業」を報告セグメントとし、「自動車・産業機械部品事業」に含まれない配管機器事業、EMC事業及び熱エンジニアリング事業等を「その他」の区分としています。

自動車・産業機械部品事業

セグメント
売上高 **654億83百万円**

前年同期比13.7%増 ▲

売上高構成比

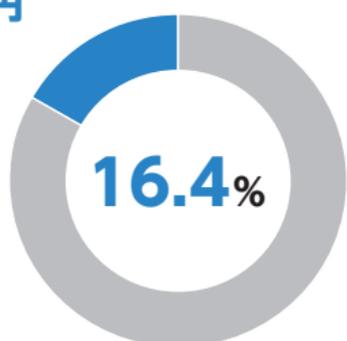


その他

セグメント
売上高 **128億88百万円**

前年同期比6.3%増 ▲

売上高構成比



株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 (なお、中間配当を行う場合は9月30日)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国の各支店で行っております。
公告の方法	当社の公告は電子公告(当社ホームページ)により行います。 https://www.riken.co.jp/ ただし、電子公告によることができないときは日本経済新聞に掲載して行います。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に当社をより深くご理解いただくため、最新の情報をはじめ、IR資料、業績・財務データ、技術情報など様々な情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.riken.co.jp/>